

# 農林水産部試験研究課題に係る令和4年度外部評価委員会の結果について

令和4年10月12日  
農林水産政策課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いましたので、報告します。

## 1 外部評価委員会

- (1) 実施時期 9月2日（オンライン開催）
- (2) 評価者 学識経験者（鳥取大学、公立鳥取環境大学）、流通・経済界（市場関係者）、生産者（農業・林業・水産業関係者）、消費者 計10名

## 2 評価結果（別紙参照）

- (1) 評価対象
  - ア 来年度から取り組もうとする研究課題（事前評価対象 11課題）
  - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題（中間評価対象 4課題）
- (2) 評価結果の概要
  - ア 事前評価課題 8課題は、研究を実施する。3課題は、研究内容・方法を見直して実施する。
  - イ 中間評価課題 4課題全て、研究を継続する。

### (3) 試験研究内容に関する委員の主な意見

#### ア 評価の高かった研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (事前)	「星空舞」のブランド力を強化する研究	高温時の品質向上など課題が明確化されており、研究の成果が上がることを期待できる。
園芸試験場 (事前)	園芸産地の今と未来を見据えた病害虫防除対策	農業生産を行う上で病害虫対策は常に必要であり、研究を継続していくことが必要である。
畜産試験場 (事前)	豆乳おからの飼料利用に関する研究	廃棄物である豆乳おからが飼料として製品化され、安価に利用できるようになることを望む。
中小家畜試験場 (事前)	「鳥取地どりピヨ」の遺伝資源復元技術の確立	遺伝子資源を保っていくのは、試験場の重要な事業。ブランド力の向上と市場拡大を望む。
林業試験場 (中間)	県産材の建築用途を拡げる JAS 規格材の利用技術に関する研究	県産材が適材適所で利用出来るようになり用途が広がることを期待する。
栽培漁業センター (中間)	ナマコ増殖試験	ナマコ資源が増えて漁業者の収益増になること、地元市場で安価に購入出来るようになることなどを期待する。

#### イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (事前)	水田農業経営の効率化に関する調査研究	水田農業の経営安定はとても重要な課題であるため、課題毎の数値目標を定めて研究すべき。
	有機・特別栽培技術開発試験	有機・特別栽培における現実の課題に注力し、もう少し課題を明確化して取り組むべき。
林業試験場 (事前)	荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立	荒廃農地を林地等にすることの意義をもっと明確にして、メリット・デメリットなども整理して研究すべき。

## 3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言も踏まえながら、今後の試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様に試験研究への理解促進を図る。

農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点 (15点中)	総合評価
1 農業 試験場	事前	水田農業経営の効率化に関する調査研究	R5 ~ R9	11.6	○
	事前	有機・特別栽培技術開発試験	R5 ~ R9	11.3	○
	事前	「星空舞」のブランド力を強化する研究	R5 ~ R7	13.0	◎
4 園芸 試験場	事前	園芸産地の今と未来を見据えた 病害虫防除対策	R5 ~ R9	13.1	◎
	事前	地球温暖化に対応した白ネギの安定生産技術と弓浜特産野菜の栽培改善	R5 ~ R9	12.4	◎
6 畜産 試験場	事前	豆乳おからの飼料利用に関する研究	R5 ~ R7	14.1	◎
7 中小家畜 試験場	事前	「鳥取地どりピヨ」の遺伝資源復元技術の確立	R5 ~ R8	12.8	◎
	事前	「大山ルビー」の継続的な生産体制の構築	R5 ~ R7	12.6	◎
	中間	ゲノム育種価を活用した大山ルビーの育種改良	R2 ~ R6	12.4	◎
10 林業 試験場	事前	荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立	R5 ~ R7	11.3	○
	事前	県産スギ大径材の製材や乾燥における品質の向上に関する研究	R5 ~ R9	13.0	◎
	事前	鳥取県の環境に適したカラマツ初期保育技術の確立	R5 ~ R7	12.0	◎
	中間	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	R2 ~ R6	12.3	◎
	中間	県産材の建築用途を拓げるJAS規格材の利用技術に関する研究	R2 ~ R6	12.5	◎
15 栽培漁業 センター	中間	ナマコ増殖試験	R2 ~ R7	12.1	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

評価項目	
事前 評価	研究ニーズ・緊急性(5点満点) 研究計画・目標の整合性(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)
中間 評価	必要性・社会情勢の変化(5点満点) 進捗状況及び達成見込み(5点満点) 生産者・消費者への波及効果(5点満点)